

第 1212 回放送分『小児疾患』4 回目

ゲスト：櫛木大祐ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「小児疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 櫛木大祐（はぜき だいすけ）ドクターです。
櫛木さん、最終週もよろしくお願いいたします。

櫛木大祐Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

今日は何についてお話しいただけますか？

櫛木大祐Dr.

今日は学校の心臓検診についてお伝えいたします。
毎年春頃に学校内で診察をしたり、ご家族が問診票を書いたりしますが、
その際ときどきですが「精密検査が必要です」と言われる方がいると思います。

二見いすず

それは大体どのくらいの割合でしょうか？

櫛木大祐Dr.

おおそ全体の 1、2 % くらいでしょうか。
ただし、精密検査が必要だと言われても、ほとんどの場合は念のためです。
病気があるかどうかを念のため詳しく確認しましょうというものなので、
そこまで心配しなくても大丈夫ですと、まずはお伝えしたいです。
学校内の診察だけではなく、親御さんが書かれた問診票の内容に引っかけって
呼び出すこともありますので、精密検査イコール病気というわけではありません。

二見いすず

それを先に知っていると、もし精密検査が必要と言われても慌てなくて済みますね。

櫛木大祐Dr.

そうですね。

二見いすず

それに学校の検診ですと、学校に行けば必ず受けられるので
その点はありがたいですね。

櫛木大祐Dr.

これは本当に日本独自のシステムといいますか、世界的にもかなり珍しいシステムです。児童全員に対してきちんと心電図をとるというのは、おそらく世界中どこもしていないと思います。

二見いすず

そうなんですか。

櫛木大祐Dr.

なにか異常がある子どもの方が稀ですからね。でも日本は学校に行っている全員が受けられるので、珍しいですがいいですよ。

二見いすず

そうですね。1週目から、心雑音、胸痛、川崎病とお話を伺ってまいりました。子どもの心雑音と胸の痛み、胸痛は、ほとんどの場合が重症ではないケースだということでした。そして川崎病に関しては、6つの診断基準があり、発熱、目の充血、唇の充血、発疹、手のひらや足の裏が真っ赤に変色する、首のリンパが大きく腫れる、これらの症状が出たら、2週間以内に治療を受けることが大切ということでした。

櫛木大祐Dr.

はい。早めに治療を済ませなければ、冠動脈瘤になるおそれもあるので、いつもと違うなと感じたら早めに小児科を受診するようにしてください。急性期にしっかりと治療して、その時点で冠動脈瘤がなければほぼ心配ありませんが、かなり稀に、何週間、何ヶ月と経ってから冠動脈瘤になるケースもありますので川崎病になったら一応5年間は定期的に検診を受けてください。

二見いすず

今月は小児疾患について鹿児島県医師会 櫛木大祐ドクターに貴重なお話をさせていただきました。櫛木さん、ありがとうございました。

櫛木大祐Dr.

ありがとうございました。